会員生協の活動報告

福井県民生協　こども食堂等への臨時の食料支援と交流会に取り組みました

福井県フードバンク連絡会（事務局:福井県民生協）では、昨年11～12月の年末にかけて国の「ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業」の助成金と北陸労働金庫の「ろうきん子どもの明日を応援プロジェクト」助成金を活用して臨時の食料支援活動とこども食堂運営者との交流会を実施しました。

物価高騰が続くなか、こども食堂からのニーズを聞いて11月「米5kg・レトルトカレー・ラーメン5食パック・缶詰3缶セット・シリアルコーン」の5種類、4,100点を20団体のこども食堂とひとり親家庭支援団体にお届けしました。

▲11月臨時の食料支援活動での提供

また12月10日には福井県民生協本部センターにて、「福井県フードバンク連絡会」加盟団体と「こども食堂ネットワークふくい」の皆さんとの交流会を開催しました。企業やこども食堂からの活動事例報告や福井県から「宅食を通した見守り支援の有効性について」の提案がされました。福井県や福井県社会福祉協議会を含め31団体50人の参加で、お互いの活動の理解と情報交換が行われました。

当日は「クリスマス菓子ブーツ」1,000点を用意しこども食堂に提供。12月のそれぞれのこども食堂とひとり親家庭支援団体の活動においてのべ約500世帯、1,000人のこども達にプレゼントされました。

▲12月フードバンク連絡会と子ども食堂との交流会

福井県学校生協　「福井県しあわせ基金」に寄付

学校生協のお菓子やさん9月号チラシの供給高3%を、令和6年10月30日「福井県しあわせ基金」へ寄付しました。

「能登豪雨」へ義援金

学校生協のお菓子やさん12月号チラシの供給高3%を、令和7年1月10日「能登豪雨」へ義援金として送金しました。

「2024組合員感謝祭」を開催

令和6年10月19日(土)、「2024組合員感謝祭」を福井県教育センターにて、1日開催で行いました。

当日は、多くの組合員さまにご来場いただき、ハロウインイベント・ビンゴゲーム・大抽選会等を盛大に行いました。

福井県労済生協　「福井ブローウィンズ」試合会場で防災・減災イベントを開催しました

2024年10月19日（土）・20日（日）越前市アイシンスポーツアリーナにおいて、「防災・減災イベント」をプロバスケットボール「福井ブローウィンズ」の試合会場にて開催しました。

当日は、ピットくんと地元ダンススクールとのコラボによるダンスタイムや、試合会場というワクワクの空間で、スタンプラリーを楽しみながら避難口や消火器、AEDの設置場所を意識するトレーニング、また「新聞紙を使ったスリッパづくり」「ゴミ袋を使ったレインコートづくり」「紙を使ったコップづくり」などのワークショップを開催し多くの方に楽しみながら防災・減災に触れていただくことができました。

菅浜生協　“2024”すがはま生協まつり開催

毎年恒例の、絶大な人気の「すがはま生協まつり」を11月17日（日）に開催しました。

今年は、人気の手打ちそばコーナーは都合により取りやめましたが、セイコガニ、ぼた餅、焼きサバ、キッチンカーほか、多くのメニューで会場を盛り上げて頂き、盛大に終えることができました。

特に地元出身の陶芸家の陶器販売は、越前焼の重厚な色合いに組合員から注目のコーナーとなっていました。また、抽選コーナーでは数多くの豪華な賞品を射止めるための行列ができていました。

キッチンカーは若い方に人気で、飲食コーナーで購入したフードを囲み遅くまで賑わう様子が見られ、この地に多くの若者がいたことを再認識したところです。

今後も組合員が楽しめる一大イベントとして、更にグレードアップしていきます。

福井県生活協同組合連合会機関誌

ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会
〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地（県民生協本部センター内）
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050　Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2025年3月3日　No.146

http://www.fukui.coop/kenren/　福井県生協連合会　検索

福井県内大学生への年末食料支援を実施しました！

福井県生協連合会・福井県民生協　福井県内学生への食品プレゼント

▲福井大学での贈呈式

物価が高騰する中で経済的な困難に直面している学生を、食料品のプレゼントで支援しました。

2021年から2023年まで、福井県協同組合連合会として、コロナ禍・物価高で困窮する県内の大学生に緊急食料支援を行ってきましたが、2024年は福井県生協連合会として、引き続き物価高で厳しい生活を送る福井県内の5つの大学・500人に食料支援を実施しました。

▲福井県生協連・織田専務理事（一番右）、福井県民生協・高井次長（左から2人目）と学生代表

12月16日から18日に、レトルトのごはんやカレー、カップ麺や野菜ジュースなどを各大学にお届けし、福井大学と福井工業大学では、大学の理事長はじめ関係者の方々、学生の皆さんが参加する贈呈式が開かれました。当連合会の織田専務理事が「これからの日本や世界を担う学生の皆さんの力になれば」とあいさつしました。

学生の皆さんからは、「勉学に励む助けになる」とのうれしい感想をいただきました。

▲福井大学生協・新田専務理事（左）と学生代表（右）

▲福井工業大学での贈呈式

収集ボランティアにご協力ありがとうございました

ボランティア月間で収集された使用済み切手・ベルマーク・外国コインは、福井ボランティアセンターを通じて次の団体に寄贈され、役立てられています。また、書き損じ葉書は福井県内の福祉施設法人へ寄贈しています。

収集物	量
使用済み切手	9,400g
ベルマーク	1,650g
書き損じ葉書	213枚
外国コイン	国：22カ国 コイン枚数：1,350g 紙幣、古銭

①NPO法人 誕生日ありがとう運動本部
http://tanjyobiariga10.web.fc2.com/
活動内容　知的ハンディキャップ問題の社会啓発活動

②公益財団法人 ジョイセフ（家族計画国際協力財）
http://www.joicfp.or.jp/
活動内容　開発途上国への人口・家族計画・母子健康に関する研究および研究助成・援助活動

③公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）
http://www.jocs.or.jp
活動内容　アジアやアフリカなどの保険医療が十分でない地域への協力活動

④ユニセフ
https://www.unicef.or.jp
活動内容　世界の児童の健全育成

この広報は再生紙を使用しています

会員生協のボランティア活動紹介

福井県生協連合会では、会員生協（組織または役職員・組合員）が行っているボランティア活動に対して助成金をお渡しし、活動を応援しています。

菅浜生協

中学生の皆さんと「炭焼き」体験

菅浜生協では、県内外の小中学生のために、炭焼きを通して、森の大切さを学ぶ体験を提供しています。今年度は、5/24（金）に西宮市立上甲子園中学校の14名、10/16（水）に広島城北中学校24名の皆さんが参加されました。

炭焼きの歴史や炭が出来るまでの過程の説明や、森の役割についての説明の後、木材の切断・窯入、チェンソー体験、コースター作りを体験していただきました。

終わりには猪肉の味噌汁を堪能し、森の恵みとありがたさを実感されたようです。

皆様お疲れ様でした。

福井県民生協

能登半島地震による被災地への炊き出しボランティア活動に取り組みました

2024年1月1日に発生した能登半島地震による被災者・被災地への義援金および復旧を目的に、1月3日より宅配とハーツにて緊急支援募金活動に取り組みました。その他コープいしかわへの人的支援や1.5次避難所へ介護職員を派遣しました。そして4月以降は被災地への炊き出しを2回実施しました。

4月27日は職員18人で、輪島市町野町にある「もとやスーパー」駐車場にてソースかつ丼と豚汁400人分の炊き出しと、能登町への弁当宅配を行いました。学校生協と大学生協から4人の参加もいただき、全国の生協炊き出し活動とも連携して被災された地域の皆さんにお届けすることができました。

6月8日は職員12人で、「もとやスーパー」駐車場と能登町柳田公民館にて、ソースかつ丼とサラダ、ゼリー・五月ケ瀬のお菓子500人分を用意しての炊き出しを行いました。

10月には大阪生協連の輪島市での炊き出しに対して、食材提供を行うことで支援を継続しました。

輪島市での炊き出し▲

昨年能登半島は9月にも豪雨災害にみまわれ大変な被害を受けました。復興にはまだまだ時間がかかります。隣県の生協として引き続き、被災地域に必要な支援を継続していきます。また同時に自分ごととして、「防災・減災フェア」や「福井県防災士会」との連携を通じて事業所内や職員・組合員家庭での防災・減災の取り組みを強めていきたいと思います。

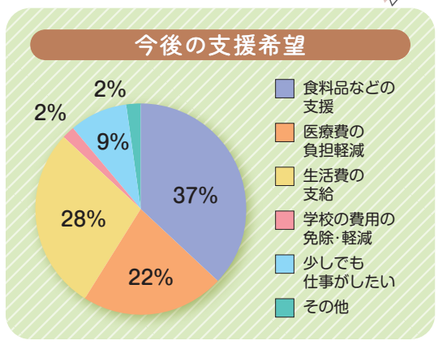
福井県医療生協

食料支援と健康チェックを行いました

▲体脂肪・握力などを測定し健康チェック

12月26日県社会福祉センターにて、第18回食料無料支援を開催。米、餅等の食料を53名の来場者にお渡しし、来場が難しい45名のご自宅にもお届けしました。組合員ボランティア7名、職員14名、看護学生2名の計23名がスタッフ参加。健康チェックも実施し49名が受けました。「すこし体重減らさないと」等の声が聞かれ、健康を意識する機会となったようでした。

毎回、支援品は組合員や地域からと、福井市フードドライブ事業として市やハーツ学園さん等からいただき、断捨離の古着も多く届きます。2024年は福井県生協連に加え三谷文化振興財団の助成金も大きな助けでした。

高熱費が心配で暖房を不使用、1日1食など物価高騰により困窮が深刻な方がさらに増えています。今後も支援を続け、関係機関との連携を強めていきます。

防寒着などの古着を選択中▶